

令和7年度 第3回
全国健康保険協会福岡支部評議会 議事概要

日 時：令和8年1月13日（火）～ 1月16日（金） 持ち回り審議

出席評議員：木塚評議員・黒木評議員・小陳評議員・谷評議員・
富松評議員・松尾評議員・山田評議員・吉岡評議員

（五十音順）

1. 議題

- （1）令和8年度福岡支部保険料率について
- （2）インセンティブ制度について
- （3）令和8年度福岡支部事業計画・保険者機能強化予算（案）について
- （4）その他

2. 議事概要

（1）令和8年度福岡支部保険料率について

事務局より、資料1-1、資料1-2、参考資料1に沿って説明。

主な意見と回答

【学識経験者】

今まで、平均保険料率が10%維持ありきで進んでいたように思う。将来を見据えて保険料率を据え置くという考え方もあることは理解できるが、中小企業経営者等にとっては負担が大きい。平均保険料率を引き下げるという選択肢も念頭に置いた議論を重ねたうえで、引き下げられない場合はなぜできないのかの根拠を明確に示し説明する必要があると考えていたため、今回引き下げの可能性について十分に議論され、引き下げに至った経緯や数値の根拠についても十分納得したので、保険料率の引き下げには異論はない。

子ども・子育て支援金は、協会けんぽの収支に影響があるのか。

【事務局】

協会けんぽの医療分とは関係はない。保険者が医療保険の保険料とあわせて被保険者・事業主から徴収し、国に納付することになっている。

【被保険者代表】

福岡支部の保険料率が 0.2%引き下げになることは、現状の物価高等の社会情勢からみても良い結果となったが、子ども・子育て支援金の開始により負担増となってしまい、保険料率が下がった実感は残念ながら得られないように感じてしまうと思う。「健康保険料が引き下げとなった」ということがわかりやすい広報が必要と考える。

準備金残高を一時的に取り崩しても保険料率を引き下げる意見もあるが、少しでも長く、現状の保険料率 10%程度の維持と保険制度が維持されることが大切だと思う。

【事業主代表】

今年から子ども・子育て支援金の徴収も始まるところから、保険料率の引き下げにより少しでも従業員の負担感が軽減されるのであればありがたい。

【学識経験者】

少しでも引き下がることは歓迎したいが、理由が「総合的な判断」はわかりづらい印象がある。保険料率を変更する際の指標・基準がある程度ほしい。準備金が法定 1 か月でよいかも含め、分かりやすい仕組みにしてほしい。

【事業主代表】

時限的かもしれないが、保険料率が引き下げとなることは小規模事業者にとってはありがたい。今後、収入や支出との兼ね合いや国庫補助の在り方等を慎重に検討して、将来に向けての協会けんぽの運営がきちんと続けていけるよう取り組んでいただきたい。

平均保険料率 9.9%は時限的なのか。

【事務局】

中長期的に安定した財政運営を目指し、できる限り長く平均保険料率 10%を超えないようにする、という基本的な考え方を変えていない。令和 8 年度は 9.9%だが、令和 9 年度以降の平均保険料率についてはさらなる議論を重ねながら検討していく。

【事業主代表】

12 月の商工会の全国大会に高市総理が来ていた、最低賃金について「事業者に丸投げはしない。支援策をしっかりやっていく。」との話があり嬉しかった。積極財政でお金を回すという考え方なので時給が上がるというのも仕方ないが、

一律に大企業と同様の賃上げとなると体力が持たないため、平均保険料率も国がそういったことを踏まえて考えてほしい。

【被保険者代表】

医療機関の経営が厳しいと言われる中で、診療報酬改定等をふまえると保険料率の据え置きはやむを得ないと考えていたが、中小企業が賃上げ等を努力した結果、保険料収入が増えたという内容も評価したうえでの保険料率引き下げであると考える。

【事業主代表】

保険料率が引き下げとなることは良いことだと考えるが、子ども・子育て支援金が追加されたことで、保険料率が引き下げとなっても手取りは増えていない。保険料率が引き下げとなったという大々的な広報はできないのではないか。トータルでの可処分所得の改善を考えていきたい。

【被保険者代表】

保険料率引き下げについては理解できる。今まででは平均保険料率 10%維持ありきで議論していたのではないか。引き下げるに違和感はない。準備金を何か月分持つておくのかの基準を決めたうえで上げ下げを決めたらよいのではないか。

(2) インセンティブ制度について

事務局より、資料 2 に沿って説明。

主な意見と回答

【学識経験者】

伸び率が影響するため一度上がると次に上位に入ることが難しいということは承知している。KPI や指標の達成も大事だが、そればかりにとらわれず、次のアクションプランの先を読む等、中長期的に見据えて他に有効な取組を考えることも必要ではないか。

【被保険者代表】

令和6年度の順位は 28 位と半分以下の結果ではあるが、特定保健指導の実施率や受診勧奨者の受診率はいい結果になっていると思うし、健康意識の向上に繋がっているのではないかと感じる。インセンティブ制度があること自体を知らない被保険者や事業主が多いと思う。保険料率決定のプロセスが広く知ら

されば加入者のモチベーションがあがり、インセンティブ獲得にもつながるため、積極的に広報して知ってもらうことも大切だと思う。

【学識経験者】

平均保険料率が9%台に下がったのに、福岡支部は10%超のままとなった。各事業所・被保険者の協力で減算できることを周知していく必要がある。

【事業主代表】

大規模支部ほど難しい面はあると思うが、来年はがんばってぜひ上位に入つてほしい。

【被保険者代表】

今の仕組みは同じ支部がずっと獲得できないようになっているように思える。職員のやる気に影響が出るのではないか。

(3) 令和8年度福岡支部事業計画・保険者機能強化予算（案）について

事務局より、資料3-1、資料3-2、参考資料3-1、参考資料3-2に沿って説明。

主な意見と回答

【学識経験者】

KPIと予算とがどうリンクしているのか掴みづらい。今年度のKPIの途中経過を掲載いただいているが、年度末時点での達成見込みがあるのかも併せて表記し、達成が困難な事業について達成するための手立てとして来年度はこのような事業にこれだけ予算をとりたいと説明する流れになっているほうがわかりやすいと思う。

けんぽアプリの目的は何か。

【事務局】

まずは情報発信から始め、段階的に機能を追加していく予定。将来的には健診情報の管理や健診予約などもできる、加入者4,000万人に直接届くコミュニケーションツールとしていくことを目的としている。

【被保険者代表】

コラボヘルス事業の禁煙勧奨通知について、現在喫煙をしている人に禁煙を勧めることは大切なことだが、通知で辞めることに結び付くことは現実的に難

しいと思う。例えば、喫煙の危険性や費やす金額、受動喫煙に関する広報を実施するなど、喫煙者を増やさないような取組のほうがいいように感じる。

被扶養者は被保険者と比べると健診実施率が低い状況であり、被扶養者の健診の拡充は重要だと思う。

【学識経験者】

医療費を押し上げている呼吸器系疾患を減らすためにも、喫煙対策にさらに取り組んでいただきたい。

健診等のKPIは目標だけでなく、具体的に算出式を入れたほうがわかりやすい。

【事業主代表】

電子申請には、申請全体の何%といった目標はあるのか。

【事務局】

現時点で明確な数値目標はない。

【事業主代表】

これからはITやAIで貰えるところは貰っていかないといけない。けんぽアプリも電子申請も非常にいいと思うので、目標を設定して取り組んでほしい。

【被保険者代表】

喫煙対策については、たばこ税を引き上げるなどしなければ難しいのではないか。

【被保険者代表】

令和8年度の予算は、予算枠いっぱいまで使っていないのか。

【事務局】

既存の事業を見直したこと等により、昨年度より経費が抑えられており、枠いっぱいまで使用しない結果となった。

(4) その他

事務局より、資料4に沿って説明。

主な意見と回答

【学識経験者】

セミナーはどういった人を対象として開催したのか。

【事務局】

医師・薬剤師向けのセミナーとして開催したが、医師の参加はほぼなかった。バイオシミラー使用促進のためには、処方する医師の理解が不可欠なので、次年度は医師の参加を促すための取組を検討していく。

【学識経験者】

処方する医師の理解促進にあわせて、使用する患者側の理解も重要なので、検討していただきたい。

【被保険者代表】

バイオシミラーは一般的に知名度がない。周知・広報が必要と考える。

(以 上)